

2017年度 運輸安全マネジメント

期間;2017年4月1日~2018年3月31日



TB物流サービス株式会社
TB LOGISTICS SERVICE CORPORATION

社長	安全統括 管理者	物流管理室 室長	輸送 統括	事務局 安全G

- 1.基本方針
- 1) 安全は、すべてに優先する」をモットーに災害ゼロの職場を目指す。
 - 2) 従業員全員が一丸となって交通事故「ゼロ」を目指す。
 - 3) 運輸安全マネジメントを確実に実施することにより、継続的に輸送安全の確保、向上に努める。
 - 4) 物流を中心とした全ての企業活動に於いて、環境負荷を出来る限り低減する。

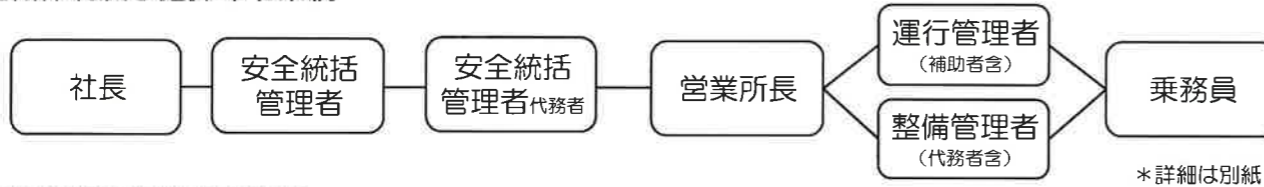
2.目標及び当該目標の達成状況

種類	29年度目標	28年度目標	28年度実績	達成状況	評価
重大事故	0件	0件	0件	達成	○
物損事故	0件	0件	2件	達成できず	×
荷役事故	0件	0件	3件	達成できず	×
労働災害	0件	0件	0件	達成	○

3.重大事故に関する統計 *自動車事故報告規則第2条に規定する事故についての統計

区分	件数	区分	件数	区分	件数
転覆	0件	踏切	0件	車内	0件
転落	0件	衝突	0件	健康起因	0件
路外逸脱	0件	死傷	0件	車両故障	0件
火災	0件	危険物等	0件	その他	0件

4.組織体制及び指揮命令系統



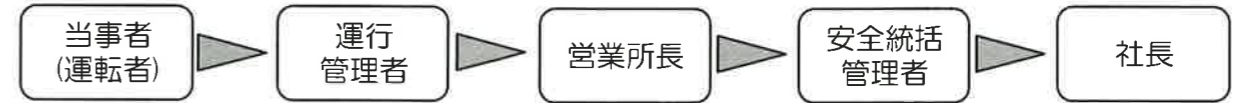
5.輸送の安全に関する計画

取組み事項	担当部署	スケジュール												総合評価		
		17.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	'18.1月	2月	3月			
1. 健康推進・安全意識向上による安心職場づくり	営業所/安全環境G															
1) 脳MRI・SAS等による健康管理の継続 (1) 有所見者(健診/脳MRI/SAS)に対するフォローの継続 (2) 心臓起因事故防止の取組	安全環境G	計画	診断と治療	結果/啓発	診断と治療											
2) ヒヤリハット提案の継続(各自1件/月)	生産物流部/営業所	調査	規定作成	診断と治療												
3) 管理者による安全パトロールの充実 (1) 全ての職場を点検(TOPによる安全点検) (2) STOP6(特に人と車両の接触)対策の継続 (3) 管理者安全教育(日常点検・漏油処理・異常処置等)	生産物流部/営業所	対策	確認	点検	対策	確認	点検	対策	確認	点検	対策	確認	点検			
4) 過去の交通事故事例の風化防止と再教育 (1) 自社ドライバーの右左折時の安全基本動作の再教育と添乗指導確認	生産物流部/営業所	現状把握	確認	対策案												
5) 各種競技会への参加と計画的な選手育 (1) フォークリフト(TB技能コンクール) (2) トラック(トラック協会主催/社内大会)	生産物流部/営業所	計画	実施	評価/反省	訓練	TB大会	評価/反省									
6) 協力会社との相互啓発(安全MTの実施)	生産物流部/業務部	情報収集	訓練			社内大会	評価/反省									
2. お客様の期待に応える生産準備・現場力の強化																
1) 車両始業点検を疎かにしない風土と士気の高い点検(KMKの徹底)	営業所	現状把握	点検	指導/評価	点検	指導/評価	点検	指導/評価	点検	指導/評価	点検					
2) 定期交換部品の交換頻度見直しと整備会社との定期的な情報交換	営業所/安全環境G	会社訪問	規準改訂	展開	評価/反省											
3) トラックの安全対策(安全対策を施した車両の標準化)	生産物流部/調達G	現状把握	仕様決定	標準化												
3. いきいきとチャレンジできる人材育成・風土構築の基礎確立																
1) 乗務員に対する更に高いレベルの教育(安全道場のレベルアップ)	安全道場	計画	添乗指導	評価/反省												
2) 新人乗務員に対する教育体系構築	総務G/安全環境G	計画	実施	修正	標準化											
4. 地域社会のよき一員であることの自覚と自立																
1) 物流会社として特色のある環境活動の実践 (1) 燃費向上委員会設置による物流CO2低減及び燃費改善活動	燃費向上委員会	立上	アイテム抽出	運用トライ	社内大会	評価/反省	標準化									
2) 大規模震災への備え(WGによる活動)	大規模震災委員会	計画	W/G再編	活動	標準化											

6.輸送の安全に対する重点施策等

- 1) 脳MRI・SAS等による健康管理の継続
- 2) 管理者による安全パトロールの充実
- 3) 過去の交通事故事例の風化防止と再教育
- 4) 納入業者(仕入れ先業者)に対する安全対策
- 5) 協力会社との相互啓発(安全MTの実施)

7.事故災害等に関する社内報告連絡体制



8.本年度教育及び研修の計画

1) 社内外研修

研修名	人員(名)	予定月	研修名	人員(名)	予定月
安全専門講座等	5	4月~3月	リーダー研修	5	通年
運行管理者基礎講習	13	通年	新入乗務員研修	20(予定)	随時
整備管理者選任前研修	4	5月・7月	告示1366号教育	100	毎月
添乗指導者養成研修	2	7月・9月	社内安全道場受講	75	通年
省エネ走行コンテスト	100	11月	技能コンクール(社内)	50	6月

9.輸送の安全に関する予算等の実績

項目	費用	項目	費用
安全担当人件費	7200	省エネ研修技能コンクール費用	400
教育関係(本社教育)	100	安全連絡会開催費用	700
運転適性診断費用	172	安全道場に関する費用	660
		無事故無違反表彰等費用	50

単位:千円

10.内部監査

安全統括管理者に指名された実施責任者(物流管理室)による内部監査を年1回実施
*平成28年12月に実施しました

営業所名	実施月/日	指摘事項		修正分	
		重度	軽度	重度	軽度
いなべ	12/16	0	7	0	0
大口	12/13	0	5	0	0
高岡	12/8	0	2	0	0
猿投	12/12	0	0	0	0
田原	12/20	0	8	0	0
岐阜	12/13	0	1	0	0
豊田南	12/26	0	6	0	0
生産管理G	12/26	0	0	0	0

*重度→法令違反 軽度→改定不良等
結果
平成28年に実施された内部監査で各営業所法令違反は認められませんでした。
軽微指摘事項は修正済み(3月確認)

11.行政処分

2016年4月1日~2017年3月31日
行政処分はありませんでした

12.安全統括管理者と安全管理規定

1) 安全統括管理者
TB物流サービス
取締役 杉本 泰隆

2) 安全管理規定
平成20年10月1日制定
*詳細は別紙